

宇美町スポーツ推進計画

計画期間：令和 8 年度（2026 年度）

第 1 章 推進計画の策定にあたって

1 計画の趣旨と背景

計画は、スポーツ基本法第 10 条および「宇美町スポーツ推進審議会条例」に基づき、本町のスポーツ振興を総合的かつ計画的に進めるための指針です。第 7 次宇美町総合計画が掲げる基本目標 1 {みんなで「子どもの育ち」を応援し生涯にわたって「学び」を楽しむ『笑顔』をうみだすまち} を、スポーツの価値を通じて具現化することをめざします。社会教育課を中心に、関連部署や団体との連携を深め、持続可能なスポーツ環境の充実を推進します。

2 社会情勢の変化と最新の動向

・国の動向（第 3 期スポーツ基本計画 2023-2027）：

「スポーツをつくる/はぐくむ」「あつまり、ともに、つながりを感じる」「誰もがアクセスできる」という 3 つの視点を重視し、DX（デジタルトランスフォーメーション）^① や共生社会^② の実現が求められています。

・県の動向（福岡県スポーツ推進計画 2024-2028）：

「スポーツ立県福岡」を掲げ、成人の週 1 回以上のスポーツ実施率 70%をめざすとともに、部活動の地域展開やスポーツによる地域活性化を重点としています。

・本町の現状：

障がい者スポーツの環境整備、こどもの体力向上、地域組織（子育連等）の変容への対応、および部活動地域展開が喫緊の課題となっています。

第2章 計画の基本的な考え方

1 理念

「ひとがつながり、支え合い、育むスポーツで元気なまちづくり」
～スポーツで輝く 元気なまち 宇美～

運動やスポーツをとおして、する人も、みる人も、ささえる人も一緒になって、人と人につながり、地域の活性化と町も人も健康で元気なまちづくりを進めます。

2 方針

(1) 「宇美町のスポーツをより元気に」(振興と基盤整備)

スポーツそのものの価値を高め、裾野を広げるためのハード・ソフト両面の充実を図ります。

(2) 「スポーツの力で宇美町をより元気に」(社会課題解決)

健康寿命の延伸、共生社会の実現、地域コミュニティ^③の活性化など、社会課題にスポーツを活用します。

3 目標

基本方針を具現化するため、以下の3つの柱を立てます。

目標1：スポーツの機会の提供（ライフステージに応じた参画）

目標2：スポーツ環境の整備（施設・指導者・組織の最適化）

目標3：スポーツ活動の新たなアプローチ（DX、共生、地域連携の革新）

第3章 具体的方策と重点的取組

目標1：スポーツの機会の提供

(1) ライフステージに応じたスポーツの普及・啓発

町民の誰もが、幼児期から高齢期それぞれの年齢や体力等に応じて、いつでも、どこでも運動・スポーツを楽しむことができる環境を整え、ライフステージに応じた普及・啓発を行います。また、多様化するニーズに合った情報発信や参画機会を提供します。

(2) 多様な参画スタイルの提案（「みる」「ささえる」の提案）

競技者だけでなく、スポーツ競技の試合観戦やパブリックビューイング、国際大会などの上位大会出場選手への支援など、応援を通じて「みる・ささえる」といった感動の共有や、ボランティアとしての参画機会を創出し提案します。

(3) 障がい者スポーツの推進と共生意識醸成

東京デフリンピック等の国際大会をきっかけとした取組を一過性にせず、パラアスリート^④やデフアスリート^⑤の活躍や福岡県民障がい者スポーツ大会への参加について、継続的に周知・発信することで、障がい者スポーツの関心を高める活動を行います。また、共生社会の実現に向けた取組を行います。

(4) 地域コミュニティにおけるスポーツ活動の活性化

国が掲げる「あつまり、ともに、つながりを感じる」視点や、県が進める「スポーツによる地域活性化」を踏まえ、宇美町の各地域コミュニティにおけるスポーツの場を支援します。

目標2：スポーツ環境の整備

(1) 公共スポーツ施設の適切な管理と有効活用

計画的整備、ストック最適化^⑥、安全管理の徹底を図りつつ、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた改修や、DXを活用した予約システムの利便性向上を検討します。

(2) 指導者の育成と安全・安心な環境づくり

スポーツハラスメント防止の徹底と公認スポーツ指導者資格（スタートコーチ等）の取得支援を行い、質が高く安全な指導体制を構築します。

また、スポーツ推進委員の役割を強化します。

(3) スポーツ団体のガバナンス^⑦強化と連携支援

スポーツ協会、スポーツ少年団等の持続可能な運営を支援し、組織の拡充をめざします。

(4) スポーツ等大会出場費用補助金の充実

補助の対象となる大会や補助金の額について、現行の要綱の見直しを行い、18歳以下の児童生徒が全国大会等に出場する際の費用負担の軽減を図ります。

目標3：スポーツ活動の新たなアプローチ

(1) 学校部活動の地域連携・地域展開

国のガイドラインに基づき、休日の部活動から段階的に地域クラブ（ふみの里スポーツクラブ等）へ移行します。令和9年度8月以降に複数の部活動で平日を含めた持続可能な展開をめざします。

(2) スポーツ×デジタル（DX）の推進

eスポーツ^⑧やバーチャルスポーツ^⑨を、誰もがスポーツを楽しめる「共生社会」の実現に向けた強力なツールとして活用し、外出が難しい方々の社会参加、高齢者の認知機能維持、多世代交流の手段とすることを検討します。

(3) データに基づく健康・まちづくり

スポーツ実施率と医療費レセプトデータ^⑩の相関分析などを検討し、健康への効果を明らかにすることで町民の意識向上を図ります。

(4) スポーツコミッション機能の検討

福岡J・アンクラスや福岡県ラグビーフットボール協会等との連携協定を活用し、学校や社会教育関係団体等の連携を深め、専門的な教室開催など町民が直接恩恵を受けられる活動を行います。また、スポーツによる交流人口の拡大や地域経済の活性化を図ります。

第4章 推進体制と評価

1 スポーツ推進委員の役割強化

地域スポーツのコーディネーターとして、行政と町民の橋渡し機能を強化します。

- ・地域に寄り添う活動：

地域とスポーツを繋ぐ「調整役」機能を強化し、ニーズを捉えた運動のきっかけづくりを展開します。

- ・専門性の向上：

将来的な地域巡回指導の実現に向け、指導法の習得や公的研修への参加など、自己研鑽の徹底を図ります。

- ・体制の透明化：

公募制の検討や活動の見える化による、新たな人材の参画を促進します。

2 計画実現に向けた実施事業計画（詳細）

目標	事業名	実施内容（推進・充実の視点）	担当・連携先
1- (1) 1- (2) 1- (4)	スポーツフェスタ再編	任意参加型種目の導入と多世代交流を目的とした企画の検討	スポーツ協会 スポーツ推進委員等
1- (3)	障がい者スポーツ実態調査	施設利用状況、県大会参加実績の調査・分析の推進	社会教育課 福祉課等
2- (1)	スマート施設 ① 管理・利用促進事業	DXを活用した施設予約システムの導入検討及び、ユニバーサルデザインに基づいた施設改修（多目的トイレ、スロープ整備等）の推進	社会教育課 企画財政課等
2- (2)	推進委員指導技術研修	県主催研修等への参加を通じたACP [®] 等の知識習得の推進	社会教育課 スポーツ推進委員等
2- (2)	推進委員確保・広報事業	活動の魅力を発信する広報活動と公募制の導入検討	社会教育課 スポーツ推進委員等
2- (3)	社会教育関係団体単位団体等支援	各単位団体における主体的な活動の場（郡民スポーツ大会等）を広げる支援の充実	社会教育課 スポーツ協会 スポーツ少年団等
3- (3)	医療費相関分析	スポーツ実施率とレセプトデータの突合・分析手法の検討	社会教育課 健康課等
3- (4)	専門団体交流事業	福岡J・アンクラス等による専門教室の開催と、体験機会の充実	社会教育課 連携協定団体 学校等

用語集

① DX（デジタルトランスフォーメーション）

スマートフォンやインターネットなどのデジタル技術を使って、暮らしやサービスを便利にすることです。

例：スポーツ施設の予約をスマホでできるようにするなど

② 共生社会

年齢や障がいのある・なしに関係なく、みんなが助け合いながら一緒に暮らせる社会のことです。

だれでもスポーツを楽しめる環境づくりをめざします。

③ 地域コミュニティ

同じ地域に住む人たちのつながりや集まりのことです。
スポーツを通じて、顔見知りが増えたり、交流が広がったりします。

④ パラアスリート

主に身体や視覚などに障がいのある人で、競技スポーツに取り組む選手のことです。

⑤ デフアスリート

聴覚に障がいのある人で、競技スポーツに取り組む選手のことです。

⑥ ストック最適化

今ある施設や設備を大切に使いながら、より使いやすくすることです。
古くなった体育館を直したり、使いやすく工夫したりすることがこれにあたります。

⑦ ガバナンス

団体や組織が、ルールを守ってしっかり運営されるようにすることです。
安心して参加できるスポーツ団体づくりにつながります。

⑧ eスポーツ

テレビゲームやパソコンゲームを使った競技のことです。
体を大きく動かさなくても楽しめるので、こどもから高齢者まで参加できます。

⑨ バーチャルスポーツ

コンピューターや機械を使って、運動やスポーツを体験できるものです。
家の中や施設で、実際のスポーツのような体験ができます。

⑩ 医療費レセプトデータ

病院でかかった治療の内容や医療費が記録されたデータのことです。
これを活用して、「スポーツをすると健康にどんな良い影響があるか」を調べます。

⑪ スマート施設

デジタルのしくみを使って、使いやすくなったスポーツ施設のことです。
スマホで予約したり、空いている時間がすぐ分かったりするなど、便利に利用できるよう
になります。

⑫ ACP (アクティブ・チャイルド・プログラム)

こどもが楽しく体を動かしながら、いろいろな動きを身につけるための運動プログラム
です。
遊びを通して体力を高め、「運動って楽しい」と感じることを大切にしています。